

～総選挙敗北を見すえ 立ち直りの途を探る～

とめよう壊憲! 護憲結集! 討論集会

とき 2013年4月14日(日) 13時30分～16時30分

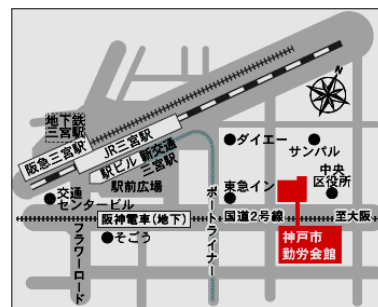
ところ 神戸市勤労会館 405/406号室

(JR・阪神・阪急「三宮駅」東南5分)

問題提起 広原 盛明 さん (元京都府立大学学長)

質疑、討論

資料代 700円



昨年の総選挙で議席の3/4に近い348を得た安倍・橋下らの壊憲勢力は、7月の参議院選で2/3以上の議席獲得をめざし、選挙協力をふくめ着々とその準備をすすめています。

彼らの主張は、戦後の国民主権・平和・人権尊重をうたった現憲法体制を根底から変え、「憲法は、権力を拘束・制限する」という立憲主義(憲法の本質)を破壊する「壊憲」そのものです。

1928年の選挙で2.6%の得票だったナチスが、30年には18.3%に。その時16もの政党が乱立し、失業・生活苦・混乱する政治に不満を募らせた国民は、ヒットラーの演説に引き寄せられました。33年3月の選挙の43.9%で全権を掌握したヒットラーは、同年11月にはナチスのみ出馬の選挙とし、わずか3年で92.2%を得票、後は戦争と破滅への道へとなだれ込んだ。この30年代のドイツ情勢が今の日本と重なり、鳥肌の立つ思いがします。

「このままでは大変なことに…」と思いながら、「どうしたらよいか…」「時間がない…」「結局あかんのでは…」と一人で悩んでいる人は少なくありません。参院選までの数か月は、護憲・平和・生活擁護にむけ基本の志を同じくするものが、「どうすれば、共同して、壊憲派にどう立ち向かうことができるのか」を話し合い、同時に「護憲政党にも、もの申す」必要性を痛感します。

「革新政党の不振と衰退は目を覆うばかりだ。かかる事態を招いた原因や背景を究明し、いかにして立ち直るか、という今後の方針を見出す作業は、絶対にゆるがせにできない」と呼びかけている広原盛明さんの提言を受け、「壊憲阻止の結集を願う討論集会」を開催します。ぜひご参加下さい。

【講師紹介】 広原盛明さん



元京都府立大学学長。2003年に幅広い市民でつくる「市民ネット」と「民主市政の会」との共同推薦で京都市長選に立候補、174847票(得票率40.5%)を獲得するも、保守系現職に惜敗した。

～なぜかくも気が重いのか。理由は2つある。ひとつは革新政党(社民党、共産党)の得票数の落ち込みが並み大抵のものではなく、歴史的な惨敗・大敗を喫したという厳しい選挙結果に圧倒されたからだ。もうひとつは、にもかかわらず選挙総括が現実を直視したものになっておらず、その体質に絶望に近い気持ちを抱かざるを得ないからだ。

選挙総括は、このような事態を招いた原因や背景を究明し、そこからいかにして立ち直るかという今後の方針を見出す作業だから、絶対にゆるがせにできない。選挙総括にはいわば政党の未来がかかっているのであり、キチンとした総括ができない政党には「未来がない」と言っても過言ではないからである。～(広原さんのブログより/うら面に資料)

【主催】 4・14とめよう壊憲! 護憲結集! 討論集会実行委員会

問い合わせ 憲法の改悪に反対する元教職員ひょうごネットワーク

Tel/Fax 078-733-3560 Eメール minami2satou@kxa.biglobe.ne.jp (佐藤三郎)

〔資料〕① 数字にみる2012年 総選挙結果

社民党は前回 301 万票の過半数 152 万票を失い、共産党も前回 494 万票の 1/4 に当たる 125 万票を失ったことは少数政党とはいえ両党が革新政党の中心的存在であるだけに、日本の革新勢力にとっては大きな痛手であることは間違いない。

その結果、社民党得票数は 301 万票 (4.3%) から 142 万票 (2.4%) へ、議席数は 7→2 (比例 4→1、小選挙区 3→1) へと激減し、共産党もまた 494 万票 (7.0%) から 369 万票 (6.2%) へ、議席数は 9→8 (比例 9→8、小選挙区 0→0) へと後退した。

この数字の意味するところは深刻だ。一言で言って、社民党は“解党的惨敗”、共産党はその一歩手前だと言ってよい。現行の選挙制度では得票率が 4~5%を割ってくると、小選挙区はもとより比例代表区の議席数が極端に少なくなるという特徴がある。今回の社民党得票率はいわばその“臨界点”を超えてしまったのであり、共産党はそれに近づいているといえるからだ。… (広原さんブログより)

〔資料〕② 沖縄の集会にみた革新結束力 1/9 朝日「声」欄より

「千葉県松戸市から沖縄に転居して 2 ヶ月余り。昨年 12 月 23 日に宜野湾市で開かれた県民集会に初めて参加した。大変新鮮な光景だった。…壇上に共産、社民、沖縄社会大衆党の国会議員 4 人が勢ぞろいし、互いに他党議員の名を挙げて健闘をたたえ合い、固く手を結んで共闘を誓い合った。…沖縄の革新勢力が基地撤去の粘り強い闘いを続け、かつて名護市長選で勝利したことなど、国会での議席数だけでは計れない大きな力を発揮しているのは共同、共闘の力にほかならない。中央の共産、社民党がこの沖縄の姿を全国に広げることが望みたい。(鬼原悟:無職、那覇市 59 歳)」

賛同 / 石塚 健・佐藤三郎(憲法の改悪に反対する元教職員ひょうごネットワーク) 栗原富夫(神戸市議) 池田 清(松蔭女子大学) 石川豊子 色平哲郎(内科医) 李敬宰(高槻むくげの会) 石田加代 市村善之 井上力 岩野政樹 岩村義雄(神戸国際キリスト教会牧師) 大西誠司(北神戸9条の会) 恩田怜(元神戸市議) 梶原義行 片岡 隆(芦屋9条の会) 加納花枝(女性会議ひょうご) 河内謙策(弁護士アピールを支持する市民の会) 北上哲仁(川西市議) 木下達雄(平和憲法を広げる兵庫県民会議・阪神) 工藤 紘(宝塚9条の会) 黒田達雄(長田9条の会・建築士) 小林るみ子(神戸市議) 下司正彦(憲法を生かす須磨区の会) 神戸YWCA平和活動部 小谷美智子 小寺山三左子 小寺山康雄(ポポロ) 後藤玲子(弁護士) 酒井 一(尼崎市議) 櫻井幡雄(すまはまの会) 櫻井智志(神奈川県・社会思想史研究者) 佐野修吉 嶋谷数博 市民社会フォーラム 下藺紀一郎(福岡市) 陶山喜代子 高島 仟(元神戸交通労働組合委員長) 高田富三(神戸再生フォーラム) 竹田雅博 竹山清明(京都橘大学) 高橋秀典(日朝ネット) 田中敏夫 坪谷令子 寺尾光身 寺沢京子(神戸YWCA平和活動部) 出口俊一(兵庫県震災復興研究センター) 東條健司(多井畑9条の会) 中島 淳(神戸芝居カーニバル実行委員会事務局長) 中島秀男(憲法を生かす会・垂水) 中田作成(新しい神戸をつくる市民の会) 永岡浩一 長瀬春代 南條恵津子 野村修身 羽柴 修(弁護士・9条の心ネット) 東本高志(ブログみずき主宰) 飛田雄一(神戸学生青年センター館長) 広畑貞昭 古谷 仁(元宝塚市議) 前田純一 前田辰一(芦屋市議) 増田 紘(多聞/神陵台9条の会) 松上辰之 村井雅清(被災地 NGO 協働センター代表) 村岡到(参院選選挙協力を望む会) 村上真平(農民) 室田正則 毛利正道(弁護士) 守田基師子(話し方コンサルタント) 森村啓一 森本克則 谷中進吾 山崎 貢(憲法を生かす北区の会) 吉岡治子 吉田俊弘(憲法を生かす会・灘) 若嶋秀明

[計77 ほか非公表1人、3月18日現在]

~~~~~  
賛同のお願い (下記の用紙でFAX、または E-メール等でお寄せください)  
~~~~~

「とめよう壊憲!護憲結集!」討論集会実行委委員会の取り組みに賛同します。

お名前 _____ (個人、団体いずれでも) 公表 可 ・ 不可

おところ _____

連絡先 TEL・FAX _____

E-Mail _____

あて先 Tel/Fax 078-733-3560 Eメール minami2satou@kxa.biglobe.ne.jp (佐藤)